

長崎空港NEWS

NO.13 (2024年9月18日発刊)

○業務・工事の紹介

- ・五島市沖洋上風力促進区域の巡視
- ・長崎空港RESA造成工事

○トピックス

- ・国土交通研究会
- ・佐世保港国際クルーズ拠点供用式典
- ・現場係長の声
- ・リクルート活動



佐世保港国際クルーズ拠点供用式典



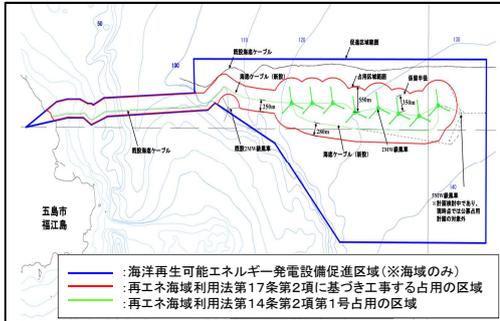
国土交通研究会

業務・工事の紹介

業務の紹介

～五島市沖洋上風力促進区域巡視～

令和6年7月4日、五島市沖洋上風力促進区域の巡視を行いました。促進区域内に洋上風力以外の施設や工作物及び作業船がないか等を船の上から確認し、巡視の結果、問題はありませんでした。今回の巡視は、タブレットによる位置確認を行いながら実施しました。



工事の紹介

～長崎空港RESA造成工事～

長崎空港では、航空機がオーバーラン⁽¹⁾またはアンダーシュート⁽²⁾を起こした場合に、人命の安全確保や航空機の損傷を軽減させるため、滑走路端安全区域(RESA)造成工事を行っています。



【今年度の施工内容】

事業の詳細については長崎空港NEWS No.8 をチェック！

基礎工 …護岸の基礎となる部分に、ガット船により基礎捨石を投入します。ガット船で投入した捨石の天端面は凸凹になるので、次年度以降の工事で潜水士により平らに均します。

※(1)オーバーラン…航空機が離着陸するときに滑走路を超えて走行して停止すること
 (2)アンダーシュート…航空機が着陸時に滑走路手前に着地すること

トピックス

国土交通研究会を終えて

FRGカバー工法については長崎空港NEWS No.12 をチェック！

7月25日、26日に、博多で令和6年度九州国土交通研究会が開催されました。本研究会は、本局、各事務所、地方自治体などが日頃から取り組んでいる業務や取り組み等について情報交流を行い、技術の向上と行政への反映を図ることを目的として毎年開催されています。当事務所からは、「FRGカバー工法による重力式岸壁の補修について」のテーマのもと、増山技官が発表を行いました。

練習風景▼



本番の様子 ▲

発表スライドの例 ▲

～意見の一部～
 ・スライドは図をメインに！
 ・話すときははっきりと！



～発表を終えて～

今回の九州国土交通研究会は私自身初めての発表となりました。発表時間10分の中で最大限に見やすく分かりやすい説明が行えるよう、本番までに何度も所内会議室で練習し、先輩方からいただいた多くのアドバイスを取り入れ試行錯誤をしながら発表に臨むことができました。この発表で得た知識や経験を活かして、日頃の業務に活かしてまいりたいと思います。

トピックス

供用式典

佐世保港浦頭地区では、国際クルーズ拠点の形成に伴う東アジアを周遊するクルーズ船の寄港増加に対応するため、平成29年度から港湾施設の整備を開始し、今般、供用式典を開催する運びとなりました。

令和6年6月1日、港湾施設の整備にご尽力頂いた皆様をお招きし、カーニバル社傘下コスタクルーズが運航するコスタ・セレーナの寄港に合わせ、「佐世保港国際クルーズ拠点供用式典」を開催しました。

隣接するエリアでは、「クルーズフェスティバルin浦頭」が同時開催され、多くの市民で賑わいました。



▲完成した佐世保港国際クルーズ拠点



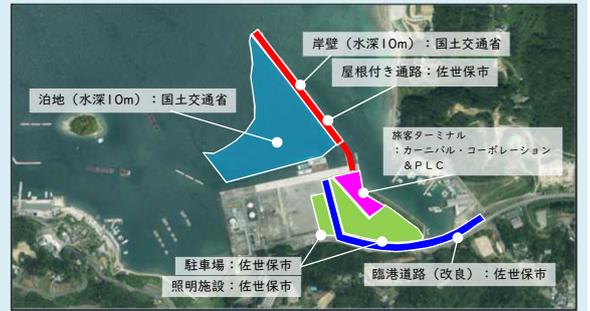
▲式典当日の様子①



▲式典当日の様子②

<佐世保港の概要>

- ・明治22年に海軍鎮守府が開庁され軍港として発展。
- ・終戦後は米軍基地が置かれ港内利用が制限される中、生産・物流拠点として重要な役割を担っている。
- ・近年は三浦地区に緑地や国際ターミナルが整備される等、賑わい拠点としての役割も担っている。
- ・平成29年7月に「国際旅客船拠点形成港湾」の指定を受け、三浦地区と浦頭地区では大型クルーズ船の受入環境が整う等、更なる賑わい拠点としての役割が期待されている。



現場係長の声

■佐世保港分室 係長



黒岩寛(くろいわひろし)です。佐世保港分室に勤務して今年で2年目になり、現場および所内調整や地元関係者への説明、契約変更対応などの現場担当として今まで以上に率先して対応することが多くて苦慮しておりますが、同時に係長としての多く経験も得ており、今後の自分がどのようにありたいかを考えさせられています。これらの経験を日々の仕事に活かせるよう、週末に趣味のサイクリングで息抜きしつつ、引き続き業務に精進してまいります。

オススメスポット

写真の場所は弓張岳展望台といい、佐世保の中心市街から九十九島までの広大なパノラマを一望できる見晴らしのよい場所で、景色として佐世保を広く知ることができるオススメのスポットです。

■厳原港分室 係長



西田史也(にしだふみや)と申します。3月まで東京の霞が関で勤務しており、久しぶりに長崎へ帰ってきました。4月から係長となり、現場担当ということもあって自分で説明をする機会が増えました。わかりやすく説明するためには自分の理解を深めておく必要があります、苦労していますが、工事が着実に進んでいるのを見るとやりがいを感じます。引き続き、事故無く工事を進められるよう、仕事に励んでまいります。

オススメスポット

対馬には万関橋という、上島と下島を結ぶ橋があります。海もきれいで、橋からの眺めは最高です！

トピックス

高校生リクルート活動

令和6年9月4日、諫早農業高校にて若手職員による高校生に向けたリクルート活動を行いました。20名の生徒に参加していただき、九州地方整備局港湾空港部の仕事について紹介しました。



▲リクルート活動の様子

■高校生からのコメント

港湾空港部を選んだきっかけや入省して良かったと思うこと等、積極的な質問を多くいただきました。

■説明を終えての感想(小松技官)

港湾と言えば、岸壁や航路を整備するイメージがありますが、臨港道路や海底トンネルなどいろいろな事業を行っていることを伝える事が出来て良かったです。また、説明のあとには、質疑等も活発にあり、港湾空港部に少しでも興味を持ってもらえたのかなと思います。今回のリクルート活動が進路を決める上での一助になれば幸いです。

余談ですが、7年ぶりに「諫農(カンノウ)」へ行きましたが、制服など新しくなっておりびっくりしました。



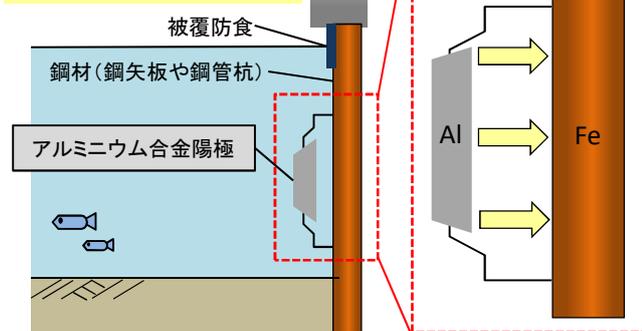
クイズコーナー

問題: これは何でしょう?



ヒント: 何かに取り付けて使います

答え: 電気防食の陽極



左図は金属間の電位差を利用した防食のイメージになります。
Al(アルミニウム合金陽極)からFe(鋼材)に電子が供給されるので、Alが消耗し、Feが防錆されることとなります。
このおかげで海水中の構造物の寿命を延ばすことができるのです!!



国土交通省 九州地方整備局
長崎港湾・空港整備事務所



〒850-0961 長崎市小ヶ倉町3丁目76-72
TEL: 095-878-5175
URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

フリーダイヤル おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

最寄りの港湾・空港整備事務所につながります

長崎港湾・空港整備事務所の業務内容

当事務所では、重要港湾における国が行う港湾施設(岸壁、防波堤、航路、泊地など)の整備と長崎空港の土木施設(滑走路、誘導路、エプロン等)の整備、開発保全航路の管理を行っています。具体的には、施設を整備・管理するための工事の発注や監督業務、工事を発注するための予算の要求などを行っています。

また、海やみなどに関する相談、アドバイス、出前講座等を行っています。

※開発保全航路・・・国が開発及び保全を行う重要な航路のこと
長崎県内の開発保全航路・・・
蝶蛾ノ瀬戸航路(じょうがのせとこうろ)
万関瀬戸航路(まんげきせとこうろ)
平戸瀬戸航路(ひらどせとこうろ)

出前講座とは・・・?

出前講座では、職員が皆さんの職場や学校等に
出向き港・空港について
分かりやすく説明します。



事務所HP_QR

